

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年3月1日

事業所名 U-KID`S MOMODANI

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	広めのプレイルームと備室が2つ。また必要に応じてパーテーションで部屋割りを行っている。	
	2	職員の配置数は適切である	88%	13%	10名のご利用者様に対し、常時5~6名のスタッフ配置を行っている。	送迎時に職員体制が手薄になることもあるため、運転専門のスタッフ導入を検討し
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	事業所の所在階は3階であるが、エレベーターが設置されている。	事業所内に段差はないが、手すりなどはないため、設置を検討中である。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	事業開始前の打ち合わせにて支援内容、スケジュールの確認を行い、終了時にも振り返りにて支援内容の改善をするため話し合っている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	毎年保護者1にアンケートを実施し、データをまとめ、職員会議にて共有し、業務改善に繋げている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	HPで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	25%	75%		第三者評価については対応協議中である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	年度はじめに年間の研修計画を立て、毎月2回の研修を実施している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	利用開始時からアセスメントを行い、課題の整理や支援内容の調整を行い、放課後等デイサービス計画に反映している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	NCプログラムの発達アセスメント、WAVESのアセスメントを導入している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	毎月のプログラムは、現在のご利用者様に合う活動をチームで検討し実施している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	定期的に新しいおもちゃや、活動に使用するアイテムを導入している。また、プログラム内容も飽きがないよう調整している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	日々の個別学習や、集団プログラム、個別の発達状況に合わせた支援を行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	放課後等デイサービス計画は、個別・集団を組み合わせた内容で作成を行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	毎日打ち合わせを行い、当日のプログラム、支援内容、業務確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	当日のご利用者様のご様子や、気づいた点、変化した点などを共有し、次回の支援内容を検討・共有を行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	当日のご利用者様のご様子をチームで確認しながら記録を録している。	

18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	半年に一度のモニタリングを実施。職員間で話し合い、時期支援計画の内容を検討している。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	コミュニケーション支援の他、工作や外出、運動など様々な活動を組み合わせている。	

関係機関 や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	事業所の児童発達支援管理責任者が対応を行う。必要に応じて保育士や指導員が同席することもある。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	ご家族へ確認を行い、必要に応じて学校に情報確認を行っている。また、送迎時間などはご家族を通して確認を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	38%	50%		現在、医療的ケアが必要な方の受け入れを行っていないが、必要に応じて対応を検討していく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	75%	13%	受け入れ開始前に電話連絡や訪問を行い、情報収集に努めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	63%	13%		現在対象児童がいないため、障害福祉サービスに移行される方はおられないが、今後の必要に応じて対応を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	75%	25%		現在、児童発達支援センターや、発達障がい者支援センターとの直接的な連携ができていないため、今後の課題となっている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	25%	75%		感染予防対策のため交流を控えているため、今後の課題となっている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	88%	13%	今年度は数回の参加となってしまったため、次年度は積極的に参加できるように努めていきたい。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	帰り送迎時の引き継ぎや、電話、LINEを用いて事業所でのお子さんの様子をお伝えしたり、ご家庭での様子の聞き取りを行なっている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	対応方法や、環境調整についてご自宅で可能な範囲での内容の情報共有を行なっている。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に細やかに説明を行なっている。必要に応じて適宜お伝えしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	ご利用者様の状況に合わせて対応を行なっている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		現在父母の会などの取り組みはないが、ご利用者様より要望があれば開催も検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	苦情やリスクがあった際、改善案を話し合い、職員の立ち位置や環境調整を実施。保護者様や各職員に伝達し、再発防止に努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	Instagramを定期的に更新することや、次月のプログラムのお知らせを発行している。会報などは現在検討中である。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報使用同意書を保護者様に確認してもらい、ご記名・ご捺印を頂く。また、従業員との契約時にも秘密の保持についての確認を行なっている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	視覚的な情報の提示や、具体的な伝達方法を用いるように努めている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	13%	88%		地域住民を招待するような行事などは行っておらず、対応協議中である。Instagramの更新を通して、様々な方に向けて活動内容の発信を行なっている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	各種マニュアルの策定を行なっているが、保護者様への周知が終了していないため、マニュアルの配布を行い、周知していく。 今後、保護者様にも各種マニュアルの配布を行い、内容の周知を行なっていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	年に2回、内容を変更しながら避難訓練を行なっている。また、年に1度、防災センターにて体験プログラムに参加している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	年に1度、虐待防止・人権についての研修を全職員を対象に行なっている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	身体拘束(制止)については個別支援計画に記載し、保護者様に了承いただいている。また、やむを得ず制止する対応を行なった際は、状況と対応の内容を保護者様へ説明を行なっている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	保護者様からの情報をもとに、おやつや昼食の内容の調整を行なっている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	職員間で今後の対応や、留意点についてを話し合い、共有を行なっている。法人内の別事業所にも会議にて周知している。